



東京マラソン2019チャリティ事業 年次報告書



御礼

東京マラソン2019チャリティへ多大なるご寄付を頂き、誠にありがとうございました。2011大会から始まり9年目を迎えた本チャリティ事業も皆さまのご支援のもと、累計寄付金総額が26億円を超えました。また、今大会においてチャリティランナーの定員を5,000人、アクティブチャリティの取組みを行い、皆様からの寄付をお申込みいただき、総額5億円以上の寄付を集めることができました。ご協力いただきました寄付者の皆様へ深く御礼申し上げます。

今後も東京マラソンを走り・支え・応援してくださる人々に、社会貢献について考えたり、実際に寄付をするきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そのような願いを込めて東京マラソンチャリティを運営しています。

理事長 伊藤 静夫
一般財団法人東京マラソン財団



東京マラソン2019 大会概要

- **大会名称** :東京マラソン2019 (英文名: Tokyo Marathon 2019)
兼ドーハ2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会
兼マラソングランドチャンピオンシップシリーズ 2018-2019
～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～
兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXII
- **主催** :一般財団法人東京マラソン財団
- **共催** :公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、読売新聞社、日本テレビ放送網、フジテレビジョン、産経新聞社、東京新聞
- **後援** :スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、報知新聞社、ラジオ日本、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、フジサンケイビジネスアイ、扶桑社、東京中日スポーツ
- **主管** :公益財団法人東京陸上競技協会
- **運営協力** :公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
- **特別協賛** :東京地下鉄株式会社
- **協賛** :スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、ビー・エム・ダブリュ株式会社、近畿日本ツーリスト、第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、セコム株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、全日本空輸株式会社、株式会社フォトライイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミルタ株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、株式会社バンダイナムコエンターテインメント、HJホールディングス株式会社、ウェスティンホテル&リゾート、日本光電、コーユーレンティア株式会社、株式会社シミズオクト、EMTG株式会社、株式会社ドール
- **種目** :マラソン (男子・女子、車いす男子・女子)
10km (ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子)
- **開催日時** :2019年3月3日 (日)
9時05分 車いすマラソン・10kmスタート
9時10分 マラソン・10kmスタート
10時50分 10km競技終了
16時10分 マラソン競技終了
- **テレビ放映** :日本テレビ系全国ネット
- **コース** :マラソン:
東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通り (日本陸上競技連盟・IAAF/AIMS公認コース)

10km:
東京都庁～飯田橋～神田～日本橋 (記録は公認されない・順位はネットタイムによる)

東京マラソンチャリティ Run with Heart とは

「東京がひとつになる日。」をコンセプトに開催してきた東京マラソンはランナーだけでなく、多くのボランティアや応援する人たちの心をつないで大きく成長してきました。2011大会からは、さらに多くの人たちを「ひとつにする」ことを目指し、チャリティを実施しています。

東京マラソンを走り・支え・応援してくださる人々に、チャリティやスポーツ振興・環境保全・世界の難民支援・難病の子どもたちへのサポート、動物愛護といった社会貢献について考えるきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティは運営されています。

走れる幸せを誰かの幸せにつなげよう。

東京マラソンでは、チャリティを総称して“Run with Heart”と呼び、独自のスタイルを提案していきます。

東京マラソンチャリティ事業は、各寄付先団体と一般財団法人東京マラソン財団が協働で運営しています。

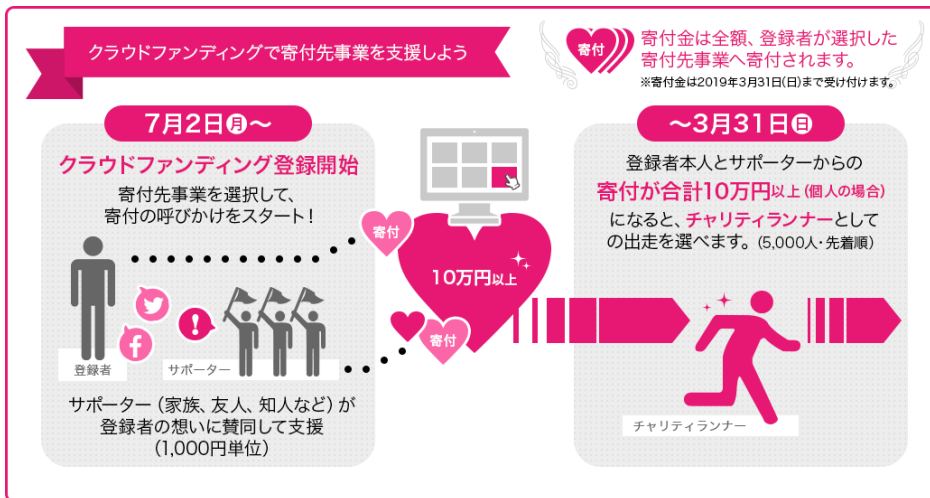
クラウドファンディングとは

登録者が、家族、友人や知人に対し、サポーター※1 としての協力を呼びかけ、寄付先団体を支援するための仕組み（オンラインシステム）です。どのような想いで東京マラソンを走ろうとしているのかを表明してサポーターを募ります。また、サポーターは期待や応援メッセージを添えて寄付することができます。東京マラソンチャリティに関わるひとりひとりの想いをわかち合うことができます。

* 寄付金10万円以上（個人の場合）を集めた寄付者のチャリティランナー※2 としての参加（出走）登録は任意となります。

※1 サポーターとは、チャリティランナーを支援してチャリティに参加する人の呼称です。

※2 チャリティランナーとは自分が選んだチャリティ団体に対して10万円以上の寄付をして東京マラソンに出走することで、チャリティ活動の素晴らしさを発信する人の呼称です。寄付金は、自ら拠出しても、クラウドファンディングを通じて支援を呼びかけても構いません。



※左記は2019大会版です。
（2020大会より仕組みを変えております。）

アクティブチャリティとは

寄付先事業を行う寄付先団体が、独自のプロモーションやランナー向けプログラムによって、主体的に寄付を呼びかける取り組みです。東京マラソン2019では、全22事業のうち、17事業が合計300人のチャリティランナーを対象に実施します。

各団体が指定した金額以上の寄付をされた方の中で、ご希望の方は、チャリティ活動をアピールしていただくチャリティランナーとして東京マラソンに参加することができます。（参加は個人・法人いずれも可能）

寄付総件数および寄付金総額について

寄付総件数

寄付金総額

7,584件/5億8,558万4,652円

—— 各寄付先団体への寄付件数および寄付金額は下記の通りです。 ——

一般財団法人東京マラソン財団
スポーツレガシー事業（1）

415件/58,137,406円 ★

スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承

一般財団法人東京マラソン財団
スポーツレガシー事業（2）

169件/14,018,000円

被災地の小学生を対象にしたスポーツ活動『キッズアスレティクス×とうほくキャラバン』による復興支援

一般財団法人東京マラソン財団
スポーツレガシー事業（3）

301件/29,542,000円

被災地の育英事業（いわての学び希望基金、東日本大震災みやぎこども育英募金、東日本大震災ふくしまこども寄附金へ分配）

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

2,019件/95,492,000円

病気と闘う子どもとご家族の為に滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の建設と運営事業

公益財団法人
スペシャルオリンピックス日本

289件/35,944,000円 ★

知的障害のある人々へのスポーツ活動の提供・普及

特定非営利活動法人
国連UNHCR協会

408件/39,914,000円 ★

紛争で故郷を追われた難民の命を守るテントの設置

公益財団法人
日本障がい者スポーツ協会

264件/30,756,000円 ★

障がい者スポーツの普及・振興

公益財団法人
そらふちキッズキャンプ

386件/35,510,148円 ★

難病とたたかう子どもと家族を、夢の医療ケア付キャンプ場に招待し大自然の中で、かけがえない時間を提供する

認定特定非営利活動法人
ファミリーハウス

321件/31,733,042円 ★

重い病気の子どもの治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア

認定特定非営利活動法人
育て上げネット

213件/19,400,000円 ★

貧困・いじめ・孤食・発達障害、生きづら子供達を守る

公益財団法人
東京防災救急協会

118件/15,087,010円

防災及び応急手当に関する知識・技術の普及による安心して暮らせる社会の実現

認定特定非営利活動法人
Teach For Japan

210件/14,062,000円 ★

リーダーシップと教育への情熱を持った若者を、教育課題を抱える公立学校へ教師として派遣する

認定特定非営利活動法人
カタリバ

338件/24,720,000円 ★

震災や貧困に苦しむ日本の子ども達へ、心のケアと勉強する機会を提供

公益財団法人
東京都農林水産振興財団

199件/21,983,000円 ★

「花粉の少ない森づくり」と地球温暖化防止を目指し、健全な森林を次世代に継承

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン

192件/14,991,000円 ★

ベトナム少数民族の村で女の子でも質の高い教育を受けられるように、教育施設を環境を整備し、同時にジェンダー平等の促進を支援する

★ アクティブチャリティ対象事業（団体）

**公益財団法人
東京都スポーツ文化事業団**

64件/9,320,000円

都民のスポーツの普及・振興

**認定特定非営利活動法人
フローレンス**

529件/16,252,000円 ★

東京23区の障害者保育を希望するすべての家庭に保育の受け皿の提供をする事業

**認定特定非営利活動法人
かものはしプロジェクト**

215件/11,831,046円 ★

インドで子どもが売られる問題の解決に向けて、「社会の仕組みを変える」活動と「被害者に寄り添う」活動

**認定特定非営利活動法人
国境なき医師団日本**

246件/18,407,000円 ★

紛争に巻き込まれ手足や顔に重傷を負った人々に専門外科医療を提供

**認定特定非営利活動法人
芸術と遊び創造協会**

84件/7,518,000円 ★

【東京おもちゃ美術館】日本の森の恵みと手仕事体験による、親子・祖父母と孫との多世代交流の場を実現

**認定特定非営利活動法人
ピースウィンズ・ジャパン**

268件/23,476,000円 ★

犬たちの命を殺処分から救うための保護・譲渡活動と、災害救助犬・セラピー犬などの育成

**認定特定非営利活動法人
ACE**

336件/17,491,000円 ★

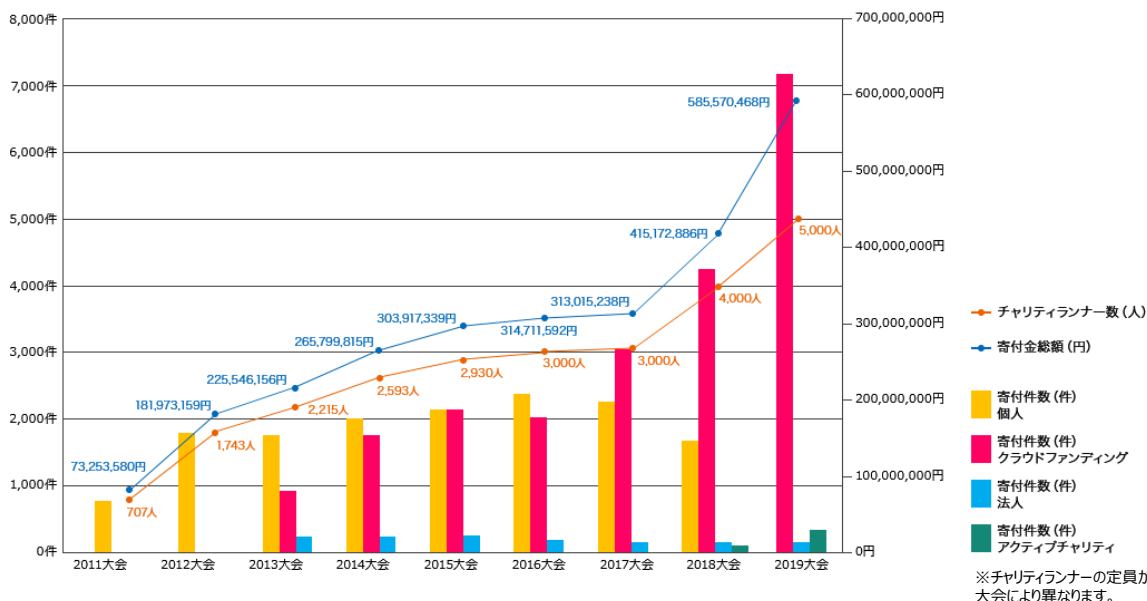
遊ぶ、学ぶ、笑う。そんなあたりまえを、すべての子どもたちに。過酷な児童労働から子どもを守り、貧困家庭をサポートします。

★アクティブチャリティ対象事業（団体）

寄付金額と寄付者数の推移

寄付金総額・寄付件数・チャリティランナー申込者数

寄付件数、チャリティランナー



募集期間とチャリティランナー申込者詳細について

チャリティランナー募集人数 5,000名 (うち300名はアクティブチャリティとして8月31日(金)まで募集)

募集期間	<ul style="list-style-type: none"> ●寄付金：2018年7月2日(月) 10:00～2019年3月31日(日) 17:00まで ●チャリティランナー：2018年7月2日(月) 10:00～2018年7月31日(日) 17:00まで ※2018年7月5日(木)16:30に4,700名受付終了 ※アクティブチャリティをのぞく。
男女比	男性77% / 女性23%
平均年齢	男性48.4歳 / 女性47.1歳 / 全体48.1歳
最年長	87歳 (男性)
最年少	20歳 (男性)

チャリティランナー参加記念Tシャツについて



メッセージを記入したメッセージシートや各寄付先団体毎のオリジナル装飾をTシャツにつけていただき、参加者、沿道で応援する方など、多くの方にチャリティランナーとしての存在とその活動を強く印象づける役割を担っていただきました。



一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業（1）



スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承

東京マラソンは、市民参加型大都市マラソン大会のパイオニアとして、そして“アボット・ワールドマラソンメジャーズ”の一員として、日本におけるスポーツチャリティを先導し、ランニングを通じた社会貢献に努めています。これからも東京マラソンらしさを探求しながら、マラソン大会やランニングの素晴らしさや可能性を常に発信し続ける存在でありたいと考えています。

<寄付者の声>

- 雨で寒い中、ボランティアの方、応援の方々に大変お世話になりました。ランナーとの一体感が、今までで一番でした。とても感動的な1日を経験できたことを感謝します。
(東京都 58歳 男性)
- 誰かの役に立てるよう、参加する機会は初めてでしたが、とても有意義でした。貴重な経験ができました。
(東京都 54歳 男性)

2018大会の寄付金の 用途について

ダイヤモンドアスリートプログラム／EXCEEDチャレンジプログラム／ランニングコースの環境整備／キッズアスレティックス×東京マラソンスタイル／車いす陸上チャレンジサポート／キッズ&ファミリンピック＜車いすスポーツ交流イベント＞／キッズアスレティックス×とうほくキャラバン

一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業（2）



被災地の小学生を対象にしたスポーツ活動『キッズアスレティックス×とうほくキャラバン』による復興支援

東京マラソンは、市民参加型大都市マラソン大会のパイオニアとして、そして“アボット・ワールドマラソンメジャーズ”の一員として、日本におけるスポーツチャリティを先導し、ランニングを通じた社会貢献に努めて参りました。これからも東京マラソンらしさを探求しながら、マラソン大会やランニングの素晴らしさや可能性を常に発信し続ける存在でありたいと考えています。

<寄付者の声>

- 雨で寒い中、ボランティアの方、応援の方々に大変お世話になりました。ランナーとの一体感が、今までで一番でした。とても感動的な1日を経験できたことを感謝します。
(東京都 58歳 男性)
- 誰かの役に立てるよう、参加する機会は初めてでしたが、とても有意義でした。貴重な経験ができました。
(東京都 54歳 男性)

2018大会の寄付金の 用途について

ダイヤモンドアスリートプログラム／EXCEEDチャレンジプログラム／ランニングコースの環境整備／キッズアスレティックス×東京マラソンスタイル／車いす陸上チャレンジサポート／キッズ&ファミリンピック＜車いすスポーツ交流イベント＞／キッズアスレティックス×とうほくキャラバン

一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業 (3)

Discover
Tomorrow
Tohoku



被災地の育英事業（いわての学び希望基金、東日本大震災みやぎこども育英募金、東日本大震災ふくしまこども寄附金へ分配）

東京マラソンは、市民参加型大都市マラソン大会のパイオニアとして、そして“アボット・ワールドマラソンメジャーズ”の一員として、日本におけるスポーツチャリティを先導し、ランニングを通じた社会貢献に努めて参りました。これからも東京マラソンらしさを探求しながら、マラソン大会やランニングの素晴らしさや可能性を常に発信し続ける存在でありたいと考えています。

<寄付者の声>

- 雨で寒い中、ボランティアの方、応援の方々大変お世話になりました。ランナーとの一体感が、今までで一番でした。とても感動的な1日を経験できたことを感謝します。
(東京都 58歳 男性)
- 誰かの役に立てるよう、参加する機会は初めてでしたが、とても有意義でした。貴重な経験ができました。
(東京都 54歳 男性)

2018大会の寄付金の使途について

被災地3県の育英事業（いわての学び希望基金、東日本大震災みやぎこども育英募金、東日本大震災ふくしまこども寄附金）へ、東京マラソン財団より、育英事業対象人数比によって各県の育英事業に直接分配いたしました。

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン



弊財団は、病気の子どもとその家族の為の滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の設置・運営を行う公益財団法人です。『ドナルド・マクドナルド・ハウス』は、お家から遠く離れた病院に入院しているお子さんとご家族のための第二のわが家。お子さんの治療に付き添うご家族のための滞在施設です。ご家族が出来るだけ病気のお子さんのそばで看病できるように地域のボランティアと共に活動を行い、病気と闘う患者家族を心身共に支えています。

<寄付者の声>

- 社会貢献もでき、また自己研鑽もできたので参加してよかったと思います。家族やボランティアの方々の協力なしでは完走できなかったのも、心から感謝しています。チャリティランナーとして5年間走り続けた父親が体調不良となり、その後を引き継ぐ形で走りましたが、その想いを継げたかなと思います。
(東京都 38歳 男性)
- 走るための講習会などの企画が、すばらしくとても良かった。また、沿道の応援にもとても勇気づけられました。
(埼玉県 60歳 女性)

2018大会の寄付金の使途について

病気と闘う子どもとご家族の為の滞在施設『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の、全国12カ所のハウスの運営費用の一部に使わせていただきました。

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本



スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに年間を通じて様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。現在、世界170以上の国と地域で活動が行われています。

<寄付者の声>

- チャリティランナーはそれぞれの意思で参加していると思いますが、同じピンクのゼッケンを見ると連帯感を感じました。(東京都 54歳 男性)
- 普段は絶対に走れない東京の街の中を走れてうれしかった。そして、走ることで社会貢献できることがうれしかった。(埼玉県 58歳 男性)

2018大会の寄付金の使途について

2018年9月に開催された「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」を開催。知的障害のある人と知的障害のない人がチームを組み競技を行う「ユニファイドスポーツ®」等の年間を通じた活動の普及のための大会・競技会、イベント等を行いました。知的障害のない方にも活動について知り、参加できるよう、広報・渉外・啓発活動を行いました。

特定非営利活動法人国連UNHCR協会



UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。スイス・ジュネーブに本部を置き、約135か国で援助活動を実施。この活動を支えるために広報・募金活動を行う公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。

<寄付者の声>

- 寄付をすることの意義について気づくことができ良い体験となりました。(東京都 55歳 女性)
- 初めてチャリティランナーとして参加したが、とても満足できたので、日程が合えば継続したい。(兵庫県 38歳 男性)

2018大会の寄付金の使途について

紛争や迫害などで故郷を追われ、難民キャンプで避難生活を余儀なくされている人々を守るために、すばやくテントを設営し避難生活を支えます。皆さまからのご寄付は、人道援助活動になくはないテント666張（1張約6万円）の設置に充てさせていただきました。

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会



当協会は、我が国の障がい者スポーツの普及振興を図る統括組織として設立され、以来50年を迎えました。近年、障がい者スポーツをめぐる環境は大きく変化し、これまでの歴史や直面する課題等を踏まえ、障がい者スポーツの更なる発展を目指して、「日本の障がい者スポーツの将来像（ビジョン）」を公表し、アクションプランによりその推進を進めています。障がいのある人のスポーツ環境を整え、日本の障がい者スポーツの発展、ひいては活力ある共生社会の創造を実現していけるよう、新たな決意を持って取り組んでいます。

<寄付者の声>

- 今回、初めてチャリティランナーとして参加し、東京マラソンの持つ社会的な意味を改めて感じました。職場や友人、家族や親戚、様々なところで反響があり、そこに出られることで、大きな関心が集まり、そこでの活動や走りが、本当に人を動かす力になり得ると思いました。（埼玉県 48歳 男性）
- 今年も無事にFinishできました。事前の準備から当日の運営まで多くの皆さまの支援、安全の確保に心より感謝致します。沿道の方々の応援にも計り知れないほどの力をいただきました。そしてこの走りによりどなたかを支援できるのは本当にありがたいことです。来年からも自分と向き合える貴重な体験に感謝の想いを込めて出走したいです。（神奈川県 53歳 女性）

2018大会の寄付金の 使途について

障がい者スポーツの普及・振興のため、障がい者スポーツ情報誌の発行/ジャパンパラ競技大会を通じた広報活動/ウェブサイトによる情報発信。また、パラリンピックメダリストへの報奨金の積立。寄付者のフォローアップ(記念グッズの作成等)に使用させていただきました。

公益財団法人そらぶちキッズキャンプ



当法人は、難病とたたかう子どもと家族を、医療ケア付キャンプ場に全国各地から無料で招待し、病気や障がいのことを気にせず、北海道の豊かな自然の中で、思いきり遊んでもらいたいと考えています。非日常のキャンプ場で、かけがえのない時間を過ごすことが、闘病中の子どもたちや家族の「休息」になり、「明日を生きるエネルギー」になることを望んでいます。

<寄付者の声>

- 冷たい雨の中のレースとなりましたが、たくさん応援ももらってとても楽しかったです！（東京都 48歳 女性）
- 意外にピンクゼッケンが多くて、仲間意識があった。海外の人も多いのにも驚くとともに、感心した。（岐阜県 50歳 男性）

2018大会の寄付金の 使途について

難病の子どもと家族が参加するファミリーキャンプの開催/馬セラピープログラムの実施と、サポートボランティアの育成、サポート施設の整備/車いすで行けるツリーハウスのある、森の遊びの仕掛け及びバリアフリー散策路の整備/東京マラソン2019チャリティのPR活動に使わせていただきました。

認定特定非営利活動法人ファミリーハウス



ファミリーハウスは日本で最初に重い病気の子どもと家族のための滞在施設を建設した団体です。27年前、国立がんセンター中央病院小児病棟（当時）の母親と医師、看護師が協力して始めたこの活動は、全国70の運営団体125のハウスを数えるまでに広がりました。現在、ファミリーハウスは都内で10施設22部屋を運営しています。

＜寄付者の声＞

- 寄付先の方々と会話が出来て、やって良かったと思いました。
(神奈川県 56歳 男性)
- やはり、チャリティで走ったので、気分も充実した。
(東京都 49歳 男性)

2018大会の寄付金の の使途について

病院と自宅をつなぐ中間施設の機能を持った、医療ケアの必要な子どもとその家族にとっての「理想のハウス」の建設資金として積立を行いました。ファミリーハウスが都内10施設22部屋を運営している施設のうち、7施設17部屋の施設維持運営費用と備品購入として寄付金を使用しました。

認定特定非営利活動法人育て上げネット



すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会をめざし、若者と社会をつなぐサポートを行っています。若者当事者や保護者を支援するだけでなく、支援現場を可視化・体系化し支援者を育成すること、地域社会・行政・企業など若者を支援する担い手をふやすことなど、多岐にわたる活動に取り組んでいます。

＜寄付者の声＞

- 冷たい雨が降る悪天候の中、ボランティアスタッフや沿道の応援に支えられて完走できたことは、心に響く経験となりました。寒さで自分1人では気持ちが折れていくと思います。支えていただいた皆さんに感謝しています。
(東京都 46歳 女性)
- あいにくの雨のため余裕が無かったので、折角の応援ポイントで気付く事が出来なかった。晴れた条件で再トライしたいと思う。ゴール後の屋内更衣室は、本当にありがたかったです。
(神奈川県 61歳 男性)

2018大会の寄付金の の使途について

まなびタス事業では「通常授業」として、76名の小・中学生を対象とした学習機会を提供しました。また「特別教室」では子どもたちが企画する社会的・文化的な体験講座を実施しました。セーフティネット教育事業では、定時制など課題を抱える生徒割合の高い高校への「キャリア教育プログラム」の実施、「高校を卒業する前の予防教育プログラム」の拡充と実施、プログラム実施の担い手の育成と教材作成を行いました。

公益財団法人東京防災救急協会



今この瞬間、大きな地震に襲われたら、目の前で大切な人が倒れたら、何を考え、何ができるか。防災館における地震・消火体験や、心肺蘇生やケガに対する応急処置を学ぶことができる救命講習などを通じて、災害時に必要となる知識と技術を1人でも多くの方へ広めることで、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

<寄付者の声>

●雨の悪天候でしたが、大会関係者の皆様へ支えていただいたことが力になり制限時間内に完走することができました。ありがとうございました。感謝申し上げます。今後も東京マラソンが継続されること、自らボランティアでも支えたいと考えております。今回の完走は、価値のあるもので次につながると思っています。今後も機会があれば是非とも出場したいです。(神奈川県 57歳 男性)

●東京マラソンを通じたチャリティの意義をもっと広めてほしいです。昨年はボランティア、今年はチャリティアンナーで参加しました。ボランティアををすると言いたいこと言われるものの、チャリティアンナーは出走権を買ったように言われます。人手を出すのも、お金を出すのも、等しくチャリティだと思いますが、まだまだ日本の文化に馴染まないのかなと思いました。チャリティアンナーありがとう！がんばれ！と沿道で応援して下さる方もあり、徐々に広まればいいかと思えます。(東京都 41歳 男性)

2018大会の寄付金の 用途について

世界一安心安全なマラソン大会を目指し、東京マラソンに参加するランナーやボランティアの方たちを対象とした救命講習を実施するための経費／救命講習資機材の購入／防火・防災・救急普及事業のプロモーションビデオの製作／防災・救急情報誌「SAFETY LIFE TOKYO」の発行・無償配布し普及啓発／東京マラソン関連イベント等での広報活動／を行いました。

認定特定非営利活動法人Teach For Japan



Teach For Japanは、「教室から社会を変える」をミッションに掲げ、フェローシップ・プログラムを運営しています。このプログラムは、教育への情熱と多様な経験があり、これからの社会のリーダーとなり得る方に公立学校へ2年間教師として赴任していただくものです。私たちは、この教師の存在が子どもの未来を創っていくと信じています。

<寄付者の声>

●今後もマラソンもチャリティも続けたいと思います。
(愛媛県 60歳 男性)

●情報提供が良い、今後も続けて下さい。
(東京都 79歳 男性)

2018大会の寄付金の 用途について

教員の無料職業紹介事業（フェローシップ・プログラム）を行いました。2019年4月に赴任する教師（フェロー6期生10名）と現役の教師（フェロー5期生）に対する研修・支援（コーチング、メンタリング、授業見学とフィードバック）を中心に、プログラムを修了しているフェロー1期生から4期生までの研修やキャリア支援等を行いました。

認定特定非営利活動法人カタリバ



カタリバは2001年に設立、どんな環境に生まれ育った子どもたちも、未来をつくりだす力を育める社会を目指し、日本各地で子どもたちの心のケアと、学習機会の提供を行っています。2013年に東京都より「認定NPO法人」を取得。カタリバへのご寄付は、個人・法人どちらのお申込みも税制優遇の対象となります。

<寄付者の声>

- 今年も参加させていただき、ありがとうございました。年々チャリティランナーの申込みも過熱してきておりますが、来年も申し込み意向であります。
(埼玉県 42歳 男性)
- 雨の中に、寄付先の方々が応援下さって嬉しかったです。防寒シート、役立ちました。有り難うございました。
(愛知県 53歳 女性)

2018大会の寄付金の 用途について

貧困世帯の子ども達のための居場所兼学習支援事業として2016年より開始したアダチベースを東京都足立区にて2校を運営。事業内容は、学習支援、英語教育、食事支援（平日と土曜日の夕飯、日曜日は昼食と夕食を提供）を行いました。

公益財団法人東京都農林水産振興財団



東京都内において、農林水産業の担い手となる後継者の確保育成や農林水産業の振興、森林の保全整備、緑化推進事業等を行い、都市と調和する農林水産業の振興、うるおいと活力ある都民生活の向上、感性豊かな次世代の育成に寄与することを目的に設立された公益財団です。

<寄付者の声>

- 東京マラソンは、最高の大会だと思います。応援、スタッフ、ボランティア、その他関係者、すべてが素晴らしい大会だと思います。東京マラソンで走れたこと、関係者すべての方に心から感謝します。有難うございました。
(東京都 51歳 男性)
- 寄付先の特典を受けられ、快適に過ごせました。
(埼玉県 43歳 女性)

2018大会の寄付金の 用途について

東京都多摩地区にて、森林整備（新たに伐採して花粉の少ないスギ・ヒノキなどを植えた234.00haの森林の下刈り作業等）チャリティランナー・寄付者招待の記念植樹イベント、各種広報、PR等を行いました。

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン



プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために世界70カ国以上で活動する国際NGOです。長年にわたり、子どもや若者、地域の人々とともに地域開発を進めてきました。すべての子どもたちの権利が守られるよう、とりわけ女の子や女性への支援に力を入れています。市民社会、政府機関と連携しながら、世界を持続的に、前向きに変えていきます。

<寄付者の声>

- 社会貢献をするためにマラソンをしているので、今回チャリティでエントリーできて良かった。
(東京都 47歳 女性)
- 冷たい雨の中のマラソンは辛かったけど、ボランティアや一般の方々の応援に元気付けられて感動しました。東京が一体化する素晴らしいイベントだと思います。
(東京都 51歳 男性)

2018大会の寄付金の 用途について

バングラディッシュの首都ダッカの南部5つのスラムにおいて、子どもおよび妊産婦の健康状態を改善するため、簡易保健所を整備し、妊産婦の産前産後検診、子どもや母親への予防接種と栄養改善、家族計画に関するカウンセリングを行い、母親支援グループを結成することができました。

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団



公益財団法人東京都スポーツ文化事業団は、東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館、東京辰巳国際水泳場などの都立スポーツ施設を管理運営しています。年齢や障害の有無に関わらず、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツを楽しむことができるよう、みなさんのライフステージにあった様々な事業を展開するとともに、東日本大震災被災地復興支援事業も実施しています。

<寄付者の声>

- 都民のスポーツ振興に、そしてスポーツを通じて多くの都民が健康になること願って、少しでも役に立てればと思っています。
(東京都 48歳 男性)
- 50歳の記念として東京マラソンを走りたいと思いました。そうした時にチャリティランナーの事を知り、自分の記念になるだけでなく同時に人の役に立てるチャリティランに共感し参加を決意しました。
(東京都 50歳 男性)

2018大会の寄付金の 用途について

青森から東京まで東日本大震災で被災した地域を中心に、約1,300kmの道のりをランニングと自転車ですすきをつなぎ、被災地の現状や復興の取組の発信、震災の記憶の風化防止、全国と被災地の絆を結ぶことを目的としたリレーイベント「未来（あした）への道1000km縦断リレー」などを実施しました。

認定特定非営利活動法人フローレンス



「待機児童にすまねない」子ども達がいることをご存じですか？ 現在、医療的なケアを必要とする障害児を受け入れる保育園や幼稚園はほぼ皆無です。私たちは、日本で初めて障害児のための長時間保育事業をモデル化したフローレンスです。保育の機会が奪われる障害児を東京でゼロにし、親御さんが子育てと共に何でも挑戦できる社会を実現します。

<寄付者の声>

- 走ることが趣味というわけではなく、長距離走は避けてきた人生でしたが、沿道からの応援があるとこんなにも頑張ることができるものかと実感しました。さらに自分の走りがチャリティにもなる仕組みは素晴らしいと思います。
(東京都 36歳 男性)

認定特定非営利活動法人かものはしプロジェクト



かものはしプロジェクトは、「子どもが売られない世界をつくる」というミッションのもと2002年に設立した認定NPO法人です。すべての子どもが強制的に売られないことを目指し、2002年からカンボジアで、2012年からはインドで活動をしています。

<寄付者の声>

- 出場権を買ったのではなく、意義を自覚し、走ることに責任を感じながら走りました。練習も準備も真剣に8か月頑張りました。とても良い記録が出ました。(千葉県 65歳 男性)
- 貴重な経験でした。スタッフさんやボランティアの方々の献身的なサポートが、本当に素晴らしかったです。皆さんに温かいお声がけいただき、感謝しています。(東京都 41歳 女性)

認定特定非営利活動法人国境なき医師団日本



1971年に医師とジャーナリストによって設立された「国境なき医師団」(Médecins Sans Frontières 略称MSF)は、独立・中立・公平な立場で医療・人道援助活動を行っている国際的な民間の非営利・非政府組織です。2017年は70カ国以上で活動しました。約4万5000人の海外派遣スタッフ・現地スタッフ・事務局スタッフが世界各地で働いています。1999年にはノーベル平和賞を受賞しています。

<寄付者の声>

- とにかく個人的には最高に楽しくて、大満足でした。ありがとうございました。
(神奈川県 43歳 男性)
- 来年も出たい。他のNPOも応援したい。
(東京都 33歳 女性)

認定特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会



戦前に建てられた都心の旧校舎11教室で「東京おもちゃ美術館」を自主運営しています。木のぬくもりのなかで、おもちゃで遊び、会話する賑やかなミュージアムです。人との触れあいを大切にし、「多世代交流」と「木育推進」をテーマに、300名以上のボランティアと寄付者「一口館長」によって運営が支えられる日本初の“市民立”ミュージアムです。

<寄付者の声>

- 最高の大会に参加させて頂き感動しました。
(神奈川県 62歳 男性)

認定特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン



1996年以来、中東やアフリカなど33の国と地域で活動してきたNGO。近年は、東北・熊本の震災復興、医師のいない離島への巡回診療、過疎地の観光振興など、国内の社会課題の解決にも取り組んでいます。「ピースワンコ・ジャパン」事業では、かつて犬・猫の殺処分が全国で最も多かった広島県で、3年以上犬の殺処分ゼロを継続中です。

<寄付者の声>

- 今年も楽しく走ることができました！まずはチャリティランナーで10回出場するのが目標です。
(東京都 41歳 女性)
- 今回は初めての東京マソンチャリティで参加させて頂きました。ほんとに少しでも社会貢献できて、よかったです。人を助けることをしてれば、いつかは自分も助けられる…今回は、雨・寒さの中での東京マソンを完走できたのも、応援・ボランティアの皆さんのおかげと思ひ、あの声援に助けられました。ほんとに感謝です。また来年もなにかお役にたつことをしたいです。
(東京都 49歳 女性)

認定特定非営利活動法人ACE



ACE（エース）は、1997年に設立した認定NPO法人です。すべての子ども・若者が、自らの意志で人生と社会を築くことができる世界をつくるために、子ども・若者の権利を奪う社会課題の解決に取り組んでいます。現在は、インド・ガーナ・日本を活動拠点に、子どもの「学ぶ」「笑う」「遊ぶ」当たり前の権利を奪う「児童労働問題」の解決に取り組んでいます。

<寄付者の声>

- 10年外れ続けたので、妻を説得して参加しました。10万円で出走権を買うという意識でしたが、実際にチャリティをすることで寄付の意味、貧困や差別などの諸問題にふれ、考えさせられました。
(東京都 39歳 男性)

チャリティ啓発活動について

■ 東京マラソン2019チャリティ・アンバサダー

各寄付先事業にて、自主性を持って積極的に取り組まれている方を「チャリティ・アンバサダー」と称し、東京マラソン2019のPR活動の一端を担っていただきました。

【一般財団法人東京マラソン財団スポーツレガシー事業】



大島 めぐみさん（元女子マラソン日本代表）

未来のアスリートたちを支えていく力になれるようチャレンジします！

みなさまからの沢山の想いを、スポーツレガシー事業の活動を通じて、「スポーツの夢・広がり・力・礎」を様々な世代に繋げていきたい！と思います。応援よろしくお願ひ致します！



M 高史さん（ものまねアスリート芸人）

ものまねアスリート芸人のM高史です！皆様応援よろしくお願ひいたします！

スポーツレガシー事業が「走る人」「支える人」「応援する人」の架け橋となり、スポーツを愛する全ての人々が心も体も元気にハッピーになれるような、笑顔の輪が広がっていくような、そんな活動を応援し続けていきたいです！



中村 優さん（タレント）

スポーツを通じた社会貢献を広く伝えていけるように、笑顔で精一杯、頑張ります！

昨年も、アンバサダーとしてスポーツレガシー事業の様々な活動に参加し、レポートを書かせていただきました。未来の笑顔や感動に繋がる素晴らしい活動ばかりでした。今年も、スポーツを愛するひとりとして、笑顔で楽しく伝えていきたいです



鹿野 淳さん（音楽プロデューサー）

普段出逢えない人と出逢え、そして走ることまでできる。そんな奇跡をみんなと分かち合いたい！

～ができない、は、～をしたいの始まりだと教えてくれたのは、僕にとっては東京マラソンでした。人は、自分には～ができないと思うと、そのできないに一生懸命過ぎて、同時に芽生えている「できないからこそ～をしたい」という気持ちが芽生えていることに中々気づけません。東京マラソンには世界中から様々な価値観や人種感、もしくは生き様を持った方々が集まります。そんな人たちと走り合うことで分かち合えること、分かち合えないけどだからこそその人や価値観を肯定できることを楽しみ合いたいし、その可能性を持ったすべての「走れる人」を応援したいです。

【公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン】



北澤 豪さん（元サッカー日本代表）

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の活動を支える“チームの輪”を広げたい

「病気に立ち向かうことと、スポーツに立ち向かうことは共通点がある。一流アスリートだけでなく、スポーツを楽しむ皆さんと共にサポートすることに意味がある」と感じています。今大会もハウスをサポートする仲間と「励ましあい、協力し合い、支え合う1つのチーム」として東京マラソンを走ります。

【公益財団法人スペシャルオリンピックス日本】



有森 裕子さん（元女子マラソン日本代表）

スペシャルオリンピックスは知的障害のある人たちにスポーツをする機会を提供し、彼らが勇気をふるい、喜びを感じる機会を増やし、彼らを支える応援が増えていこう活動を行っています。スポーツを通じて、障害の有無を超えた共生社会を目指していきますので、応援よろしくお願いたします！

【特定非営利活動法人国連UNHCR協会】



茂木 健一郎さん（脳科学者）

思いを一步一步に託して、走ります。

難民の問題は、自分の問題。誰もが、明日はそのような立場になるかもしれません。苦しい境遇に置かれている方々のことを思うことは、人間として当然のこと。そして、地球をより良い場所にするために、必要なことだと思います。

【公益財団法人そらぷちキッズキャンプ】



そらぷちけんさん（公益財団法人そらぷちキッズキャンプ 事務局長）

難病の子どもたちに応援メッセージを伝えるため走ります！皆様の力を貸して下さい。

難病の子ども医療ケア付キャンプ場の現場責任者をしています。前回大会では、チャリティアンナーとしてテレビ取材を受けながら走り、「応援しているよ」というメッセージを、日本全国の闘病中の子どもたちや家族に伝えることができました。難病の子どもとその家族の夢の実現にご支援をお願いします。

【認定特定非営利活動法人ファミリーハウス】



稲垣 英一さん

自分一人では、10万円の寄付をすることは難しいが、クラウドファンディングという仕組みを利用して、知人、友人に寄付を募り、ご寄付頂いたみんなの想いを背負って東京マラソンという、あこがれの大会に参加できることは、このうえなく幸せなことだと思います。

大会当日は、チャリティーTシャツに、メッセージを書くことで、他のランナーに寄付先であるファミリーハウスの名前を知って頂くチャンスだと思い、笑顔を忘れず頑張りたいと思います。



杉山 翔さん

走れない方々の想いと一緒に走りますので、寄付にご協力お願い致します。

病気と闘うお子さんとそのご家族がずっと「理想の家」を実現できるように自分が出来ることは、マラソンを通じて「ファミリーハウス」という団体、活動をたくさんの方に知っていただくことだと思いチャリティーに参加させていただきました。一生懸命走りますので、ご寄付をお願い致します。

【認定特定非営利活動法人Teach For Japan】



小野 孝太郎さん

子どもたちに「楽しみながらチャレンジし続ける姿」を見せたい。だから私はチャレンジします。

未来の「なりたい自分」を考え、そこに向かって「できるまでやればできる」と信じて、コツコツ行動を積み重ねる。「なりたい自分」をデザインし、未来を考える力をつけるために勉強している。そんなことを子どもたちに伝えたくて、Teach For Japanを通じて教師をしました。今度の東京マラソンは、私にとって5年ぶりのフルマラソンとなります。再び「完走できる自分」に向けて「できるまでやればできる」姿を子どもたちに見せたいと思います。



木村 彰宏さん

挑戦する自分の背中を見てくださった、誰かの今日や、誰かの明日、誰かの人生が、本人にとって「0.1度」でもより良く傾けば幸いです。

今年も東京マラソンチャリティーランナーに挑戦します。①奈良の教え子や、様々な場面で出会ってきた子どもたち、様々な場面で出会ってきた皆さま、普段お世話になっている皆さまに、チャレンジしてる背中を示したい。②一人でも多くの方にTeach For Japanの活動や、フェロー(教師)の取り組みを知ってもらいたい。③一人でも多くの方に、「チャリティアン」という寄付のしきみを知ってもらいたい。そんな想いで走ります！どうぞ応援よろしくお願ひ致します！

【公益財団法人東京都農林水産振興財団】



松田 努さん (元ラグビー日本代表)

みなさん、花粉の少ない森づくりのためにチャリティのご協力をよろしくお願ひします。

ラグビーの現役選手だった頃「企業の森」に参加したことをきっかけに、10年近く「花粉の少ない森づくり」に参加してきました。私もそうですが、毎年多くの方々が高花粉症に苦しんでいます。今の子供たちや次世代のためにも「花粉の少ない健全な森づくり」を応援します。

【公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン】



増田 明美さん (スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授)

ランの力を信じています。あなたの参加がベトナム少数民族の女の子の未来を輝かせます。

女の子だから、少数民族だから、という理由で教育を受けられない子どもたちがいます。私はこの夏、支援先であるベトナムを訪問します。村の子どもたちとランを通して交流することを楽しみにしています。みなさま、プラン・インターナショナルのチャリティアンナーとしてご参加と応援をお願ひいたします。

【認定特定非営利活動法人フローレンス】



寺田 明日香さん

7人制ラグビーで2020を目指すママアスリートです。親も子どもも自由に挑戦できる社会を。

女子アスリートは出産育児との両立が難しいと言われています。チャリティアンナーの皆さんと同じく、私も一人の母親としてフローレンスの想いに共感しています。保育問題に悩むお父さんお母さんがいない社会、障害児の家族が多様な選択肢を持てる社会になるよう願って、フルマラソンに初挑戦します。



駒崎 弘樹さん

一人ひとりの一歩には社会を変える力がある！それを皆さんと共に証明したいです。

フローレンス代表、駒崎です。障害を理由に保育を受けられない子どもを東京からゼロにしたい！という目標のために走ります。実は走るのが大の苦手でフルマラソンなんてムリ。でも、社会はみんなの力で変えられることを信じ、多くの方の想いと共にフィニッシュを目指します。応援よろしくお願ひします。

【認定特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会】



西村 知美さん（女優、タレント）

遊びで社会を変える「東京おもちゃ美術館」を応援しています！

10年以上前におもちゃ美術館でおもちゃの資格を取得しました。娘のためにおもちゃを一生懸命作って一緒に遊んだことが良い思い出になっています。遊ぶこと・楽しむことは、人が生きていくうえで欠かせない心の栄養です。皆さんも、楽しむ心を忘れずにゴールを目指してください！

【認定特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン】



夢之丞さん

全国で犬の殺処分ゼロを目指しています！仲間の命を救う活動を応援してください！

ボクは夢之丞（ゆめのすけ）！災害のときに行方不明者を検索する災害救助犬！実はボクは、殺処分されるはずの捨て犬だった。2010年に広島県動物愛護センターからピースワンコの施設に引き取られ、救助犬になるための訓練をもらったんだ。今回は殺処分される仲間を1匹でも救うために頑張ります！

※このチャリティシートはピースワンコ・プロジェクトスタッフが登録しています。



ジュリエドワーズさん

愛犬ルル子のようにハッピーなわんこが増えるよう、「殺処分ゼロ」実現のため走ります

私にも愛犬ルル子というかけがえのない家族がいます。私がアンバサダーをすることで、少しでも多くの方がピースわんこの活動を知り、楽園で暮らす2000頭以上の犬たちが里親を見つける事ができるように、そして、罪のない犬猫達が殺される事がない「殺処分ゼロ」の実現にお手伝いしたいからです。

【認定特定非営利活動法人ACE】



SHOGO MATSUGAKIさん

スポーツが多様な形で、社会へ貢献できる喜びを共鳴して参ります。

東京マラソン2019大会ではチャリティーアンバサダーとして初めて参加させていただきます。2019大会では走る楽しさを伝えると共に、世界の子供たちの未来へ目を向けて参ります。東京マラソンを通じ、世界の児童労働が無くなる事を信じています。



Hide TANAKAさん

意識を変える1歩を踏み出す勇気を伝えたい。

人生で1度は挑戦したかったフルマラソン。でもその一歩が踏み出せずにいました。今回チャリティーランナーとしてその舞台を用意してくださったACEさんに感謝をしています。この大会を通じACEさんの活動を一人でも多くの方に知っていただき、未来の子供たちの笑顔を生むアクションにつなげて行きたいです。

東京マラソン財団オフィシャルイベント『有明・お台場リレーハーフマラソン』ブース展開

2018年5月13日（日）臨海副都心シンボルプロムナード公園（有明／台場）特設ランニングコース及びイーストプロムナード「石と光の広場」で実施された東京マラソン財団オフィシャルイベント『有明・お台場リレーハーフマラソン』にて「Run with Heart ブース」を展開。

「Run with Heart ブース」では、東京マラソン2019チャリティの各寄付先事業の紹介や、個人ラン・ハーフ参加者を対象にエリートランナー気分を味わえるスペシャルドリンクサービスや周回カウント、ランナーへの給水活動など、参加者に向けて様々なサポートを実施。

「Run with Heart ブース」に立ち寄って頂いた参加者の方には、メッセージシートへそれぞれのメッセージをご記入頂き、記念撮影も行いました。



東京マラソン財団オフィシャルイベント『東京トライアルハーフマラソン2018』ブース展開

2018年10月27日（土）に実施された東京マラソン財団オフィシャルイベント『東京トライアルハーフマラソン2018』にて、「Run with Heart ブース」を展開。

東京マラソン2019チャリティの寄付先団体の事業紹介や、チャリティ活動の周知、ランナーの応援や給水などのサポートを実施。



東京マラソンEXPO 2019の活動について (2月28日、3月1日、3月2日)

■ チャリティブースにて事業紹介

東京マラソンEXPO 2019の会場にて、チャリティブースを展開。
各寄付先団体のブースに加えフォトスポットやチャリティステージを実施。
チャリティランナーとの交流、チャリティの認知向上を図りました。



東京マラソン2019 大会当日の活動について (3月3日)

■ チャリティランナー更衣スペース/チャリティラウンジでの交流

大会当日に設置されたチャリティランナー更衣スペース。フィニッシュ後、寄付先団体のおもてなしとお出迎えにより、チャリティランナーの皆様もゆっくりと休まれました。





東京マラソン2019チャリティ をご支援いただいた 法人の皆様 (芳名録)

法人寄付 102件 (97団体)
掲載団体数 79団体

芳名録の掲載基準は以下の通りとなっております。

1. 寄付先事業を担う団体（寄付先団体）の正式名称にて50音順で配列しています。
2. 寄付先団体ごとに寄付された法人のみを50音順で掲載しています。
(寄付金額を含むその他の個人情報は掲載しておりません。)
3. 掲載を希望されない法人については、掲載しておりません。

一般財団法人東京マラソン財団
スポーツレガシー事業 (1)

SBIアプロモ株式会社
株式会社C M C
TPJテクノロジー株式会社
株式会社東京ニュース通信社
一般社団法人日本ランニング協会
日本コカ・コーラ株式会社
株式会社はとバス
株式会社バンダイナムコエンターテインメント
株式会社パシフィックスポーツクラブ
株式会社プロモ
株式会社プロティア・ジャパン
リングロー株式会社

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・
ハウス・チャリティーズ・ジャパン

株式会社イトー
エーオンジャパン株式会社
エーオンジャパン株式会社
グリフスフーズ株式会社
ニコルス技研有限会社
伊藤ハム株式会社
医療法人おひげせんせいのこどもクリニック
株式会社イトー
株式会社エムエヌスタッフ
株式会社セイワ食品
株式会社岡養鶏場
株式会社宮本組
株式会社東京トルネード
東和アミューズメント株式会社

一般財団法人東京マラソン財団
スポーツレガシー事業 (2)

鈴正工業株式会社
マーシュジャパン株式会社

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

株式会社オフィスココ
医療法人社団 光和会
株式会社 日本財託管理サービス
ピーアークホールディングス株式会社

一般財団法人東京マラソン財団
スポーツレガシー事業 (3)

株式会社セラビ
株式会社ソリトンシステムズ
日星産業株式会社
医療法人 平心会
ミネロマン株式会社
ユナイテッド不動産株式会社
PAG Consulting Ltd

特定非営利活動法人国連UNHCR協会

株式会社エクソンホールディングス
医療法人のぞみ会
前田海産株式会社

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

株式会社エービーシー・マート
医療法人熊本血管外科クリニック
株式会社サンマーク出版
穴戸コンクリート工業株式会社
株式会社スプーン
株式会社トマト
東和アミューズメント株式会社 岸野
株式会社マキノ

公益財団法人そらぷちキッズキャンプ

株式会社堅城
株式会社日本財託

公益財団法人東京都農林水産振興財団

環境ステーション株式会社
株式会社織戸組
株式会社ビクソン
有限会社エコランド

認定特定非営利活動法人ファミリーハウス

株式会社AllWays
株式会社オカダ
株式会社大和証券グループ
ヒビノ株式会社

公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン

東西海運株式会社
一般財団法人WakuPro

認定特定非営利活動法人育て上げネット

エー・フレーム株式会社
株式会社ケーワン
株式会社TwoFive

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

株式会社セノン

公益財団法人東京防災救急協会

フコク物産株式会社
有限会社ヤマケイ
株式会社ビッグウイング

認定特定非営利活動法人フローレンス

医療法人社団鉄医会
株式会社ONE FOR ONE

認定特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

株式会社シンカーミクスル

認定特定非営利活動法人カタリバ

株式会社アズパートナーズ
キャピタル・インターナショナル株式会社
株式会社スタイルマネジメント
学校法人帝京科学大学
ピーアークホールディングス

認定特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン

株式会社ヒューマンネットワーク

認定特定非営利活動法人ACE

株式会社メモリード